



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.8.7

No. 4829

貨物会社10月ダイ改を提案

定期列車設定で4600^{キロ}減 (全国)

乗務員40名など88名の削減 (関東支社)

【関東支社の要因削減内訳】

運転関係 (総合鉄道部、機関区、貨車区)

助 役	事 務	乗務員	検 修	計
▲2	▲4	▲40	▲16	▲62

駅関係 (総合鉄道部、駅)

助 役	輸 送	営 業	計
▲1	▲22	▲3	▲26

東海道中心に長編
成化とスピードア
ップを狙う

貨物会社の一〇月ダイ改の内容が、本社、関東支社からそれぞれ提案された。貨物一〇月ダイ改は当初経営計画等で「白紙的ダイ改」といわれていたが、実際には旅客会社との関係等から、現行ダイヤを基礎としたダイ改計画となった。東海道線を中心に九三年度より着工されてきたモーターシフト施策 (ターミナル・待避線の改良、変電所の新設等) が、完成したことにより、二六両編成 (一三〇〇ト) 列車が、現行一四本から三一本に増発されるなど東海道線を中心に、輸送力増強が図られている。また直行列車などで、スピードアップ、中継接続等の改善により、

所要時間の短縮がはかられている。一方、全国で定期列車で四六〇〇^{キロ}、臨貨等を含めると一二〇〇^{キロ}の列車キロの減少など、石油、セメント輸送をはじめ車扱い輸送で大幅な列車の切り捨てが行なわれている。

八八名の大幅な要因削減、部外委託、業務の融合化の拡大

関東支社においても、奥多摩・浜川崎間の石灰石輸送の廃止など、車扱い輸送を中心に大幅な列車削減を計画している。また、乗務員四〇名の削減や検修の業務の融合化など運転、駅関係で八八名の要員合理化が計画されている。

これは貨物会社が押し進めている新フレイト二一計画 (貨物六〇〇〇人体制にむけて、より一層の合理化が不可欠となっているからだ。

すでに部外委託は、できるところはやりきり、今回は検修などの多能化 (融合化) に着手した。しかも機関車と貨車といった車種の全く違う融合化を本格化させている。

貨物会社は、今年度で七〇〇人の合理化を経営計画で打ち出しているが、関東支社の一〇月ダイ改計画・八八名の削減は、そうした人減らし合理化の悪化、とりわけ車扱い輸送の減少と、六〇〇〇人体制合理化は、貨物労働者に底無しの労働強化をつ

きつけている。

新フレイト二一六〇〇〇人体制を許さず一〇月ダイ改合理化阻止へ、全力で闘いにたちあがろう。

千葉機関区関係の提案内容

千葉機関区	運転士等	▲3	・仕業の見直しを行う。 ・予備要員の見直しを行う。
	車両係等	▲1	・機関車仕業と誘導の融合化を行う。 誘導 (交番) 隔日×1→隔日×1 機関車仕業検査日勤×2→日勤×1
千葉機関区 新小岩派出	運転士等	▲1	・仕業の見直しを行う。
	車両係等	▲1	・機関車機動班と貨車機動班との融合化を行う。 ・貨車仕業検査取扱列車及び標識運用の指定変更がある。

